

# 山口宇部 医療センター だより



玄関前の桜が新緑の葉に綺麗に生え変わり、木漏れ日と涼しさを届けてくれます

## 理念

患者の権利を尊重し、最新の医学知識に基づく医療を提供します。

## 基本方針

1. がん、呼吸器疾患の専門病院として、高度で専門的な医療を提供します。
2. 重症心身障害児(者)の専門施設として、きめ細やかな医療と療育を提供します。
3. 十分な説明と同意に基づいた患者中心の医療を実践します。
4. 臨床研究を推進し、医学の進歩に貢献します。
5. 地域医療連携に努め、医療従事者、地域住民の医学教育、研修を行います。



独立行政法人 国立病院機構

## 山口宇部医療センター

山口県特定領域がん診療連携推進病院(肺がん)

〒755-0241

山口県宇部市東岐波685番地

TEL.0836-58-2300(代)

FAX.0836-58-5219



<http://www.yamaguchi-hosp.jp/>



# 放射線科

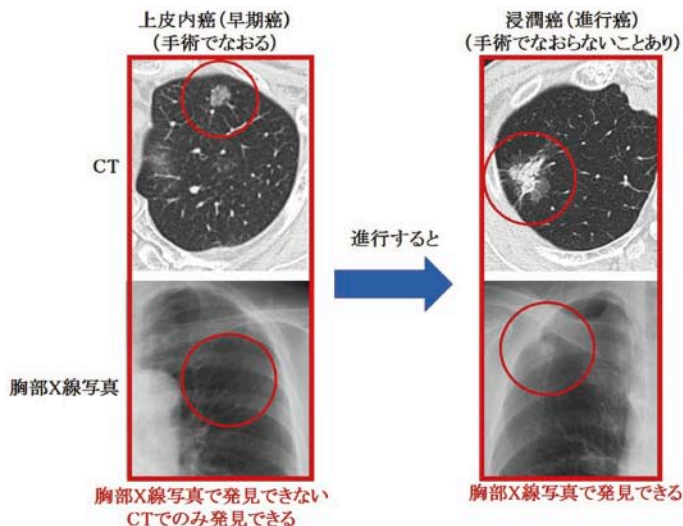
統括診療部長 田中 伸幸

当院は、肺がんにおける、山口県特定領域がん診療連携推進病院であり、肺がんの治療を積極的に行っています。また、肺がん以外にも、肺炎、間質性肺炎、慢性閉塞性肺疾患などの非腫瘍性の呼吸器疾患の専門施設でもあり、県内の病院からの紹介も多く、多くの呼吸器疾患患者さんの診療に従事しています。それらの診療に主に従事しているのは、呼吸器内科医、腫瘍内科医、呼吸器外科医ですが、診療にあたっては、画像診断が欠かせません。その画像診断に従事しているのが、我々、放射線科医です。

呼吸器領域の画像診断には、胸部単純X線写真や胸部CT検査があります。胸部単純X線写真は、いわゆる、「胸部レントゲン写真」と呼ばれる検査で、肺や心臓の形態を、二次元的に、一枚の写真で把握することができます。この検査では肺のおよその異常を見つける事ができますが、肋骨や心臓に重なった部分の肺は「死角」となり、異常所見として検出できないこともあるので、それを補う意味で、あるいは、胸部単純X線写真で異常が見つかった場合の精密検査として、胸部CT検査が行われます。

20~30秒程度の息止めで、肺全体の撮像ができ、胸部の断層像、いわゆる、「輪切り像」が得られますので「死角」がありません。異常所見が見つかった場合は、薄

いスライスの画像（高分解能CTと言います）を得ることができ、非常に細かい画像所見の解析を行います。



肺腫瘍性病変の画像診断においては、肺がんなのか、肺がんではないのかについての鑑別診断が非常に重要ですが、高分解能CTでおよその判断がつかます。ただし、CTのみで確定診断をすることはできず、気管支内視鏡検査による生検や外科的肺生検（肺組織を採取し、顕微鏡にて良性か悪性かを判断する検査です）によって、確定診断を行います。悪性、すなわち肺がんと診断された場合には、次には、病期分類（I期



当院のCT Aquilion Prime SP



CTの内部

～Ⅳ期の判定)が重要となります。肺がんは転移を起こしやすい病気であり、転移の有る無し、どこまで転移しているか、によって、手術ができるかどうか、できない場合には、抗癌剤による化学療法をするかどうか、放射線治療を加えるかどうか、などの治療法が異なります。その診断にはCT検査が威力を発揮します。可能な限り、造影剤(体の異常を分かりやすくする薬)を用いて行いますが、アレルギーがあったりすると造影剤が使用できない場合もあります。

当院では、低線量CTによる肺がん検診もおこなっています。通常の胸部単純X線写真による肺がん検診では、小さくて淡い早期の肺がん、心臓などの陰に隠れた肺がんを発見することは困難な場合がありますが、CTは解像力に優れ「死角」がないため、小さくて淡い病変(治癒可能な早期の肺がん)を確実に検出することができます。近年、重喫煙者を対象とした大規模な臨床研究の結果が2011年に米国から、2020年にオランダ・ベルギーから報告され、低線量CTによる肺がん検診により、20～39%の肺がんによる死亡率低下が見られたことが報告されました。今後は、世界的に低線量CTによる肺がん検診が普及していくことが予測されます。なお、被曝線量は1mSv(ミリシーベルト)以下であり、通常のCT検査被曝線量(約3～4mSv)よりかなり落として行いますが、画質の低下は最低限にとどめています。当院では、平日のみならず、第4土曜日にも検査を行っています。予約方法や、料金等については後段をご参照ください。

肺がん以外の非腫瘍性の呼吸器疾患の診断においても胸部CTは強力な診断手段であり、肺炎であるのか、間質性肺炎であるのか、などの診断には欠かせない検査です。当施設には、肺炎や間質性肺炎などのいわゆる、びまん性肺疾患が県内の多くの施設から紹介されてくるため、それらのびまん性肺疾患のCT所見に触れることが多いです。従って、経験値が増えたお陰で、正しい診断にいたる確率も増えていると自負しています。呼吸器疾患の画像診断はかなり専門的な知識が必要であり、症例数が多いことは多くのメリットがあり、日々、症例を蓄積しながら、切磋琢磨しております。そして、正しい胸部画像診断情報を呼吸器内科医、腫瘍内科医、呼吸器外科医に提供することにより、これらの臨床医の手助けをしています。また、臨床医からのフィードバックにより、我々による画像診断が正しかったかどうかの確認も常に行う事により、更に当院における呼吸器疾患診療は発展しています。

当院では、内科医、外科医、放射線科医が、あらゆる呼吸器疾患において、豊富な経験をもとに協力して、呼吸器疾患の診療に従事しています。画像診断において、ご不明な点や、ご心配な点などがございましたら、当院放射線科医まで、お気軽にご相談ください。

## 低線量CTによる肺がん検診のご案内

**対象者** 45歳以上の男性、および、50歳以上の女性  
**検診日** 平日(月～金)：12時～19時  
第4土曜日：10時～12時  
**要予約** 電話予約 平日：8時30分～17時  
tel.0836-58-2300(内線7166)  
低線量CTによる肺がん検診：7,330円(税込)



※喀痰(かたん)細胞診検査もご希望の方には同時に行うことができます。  
特に、重喫煙者 喫煙指数(1日の喫煙本数×喫煙年数)が600以上の方は受けられることをお勧めします。  
喀痰(かたん)細胞診検査：2,240円(税込)

6ヶ月以内に血痰があった方は、この検診ではなく専門機関にて精密検査を受けてください。

# リハビリテーション科

副理学療法士長 中須賀 瑞江

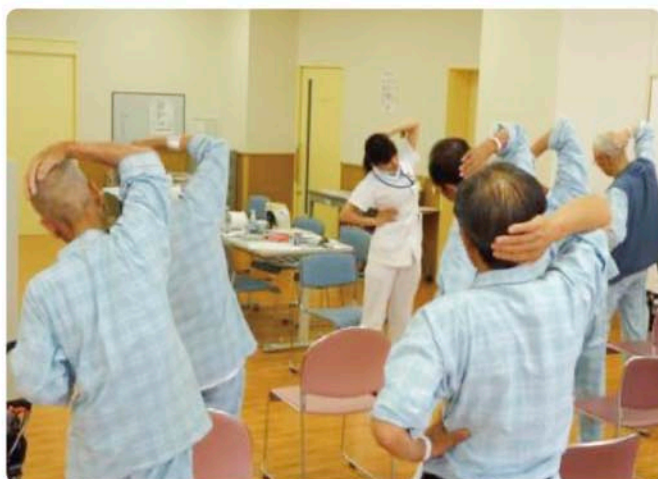
私たちリハビリテーション科は患者さんが自分らしく自立した生活ができるように、また介助が必要でも自分らしい生活が継続できるように支援しています。リハビリと言えば、骨折や脳卒中の方たちが行っているイメージがあるかと思いますが、当院では主に呼吸器疾患の方、がん治療中の方、緩和ケアを行っている方、脳性麻痺など重症心身障害児(者)の方たちの

治療を行っています。年齢や体力、病状に応じてそれぞれに合ったプランを決めて支援させていただきます。当院のリハビリテーションは『理学療法』『作業療法』『言語聴覚療法』の3部門がありますのでそれぞれ紹介します。

## 理学療法

一番多いのは呼吸器疾患に関するリハビリテーションです。胸部外科手術前後(主に肺癌)や、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、肺炎など内科疾患の方などが対象です。呼吸体操や運動療法(筋力トレーニングや自転車エルゴメータ)、呼吸法の指導などを行います。積

極的な運動が難しい方の場合は起きる・座る・立つ・歩くなどの基本動作練習を行ったりします。



※現在、新型コロナウイルス感染症対策として、人数制限や人との一定の距離を確保した上で実施しております。

## 作業療法

リハビリテーションの中でも特に上肢機能や日常生活動作を専門分野としています。

一般・緩和ケアのリハビリでは、主に上肢(肩~手指)を動かしやすい練習や食事・排泄・更衣・入浴・家事など日常生活に必要な動作をできるだけ楽に安全に行う練習等を行っています。また、少し頭を使うような課題や趣味・楽しみにつながるような作業活動を取り入れることもあります。

重症心身障害児(者)のリハビリでは、関節を動かしたり姿勢を整えるなどして全身の変形を予防したり、アクティビティやコミュニケーション機器の使用を通じて楽しみの提供を行う等、快適な日常生活を送ることができるよう支援しています。



## 言語聴覚療法

言語聴覚療法部門では、摂食嚥下障害（食べることや飲み込みの障害）、高次脳機能障害（記憶障害、動作がスムーズにできない、道順が分からない、計算ができない…等）、言語障害（構音障害：呂律が回りにくい、失語症：言葉が出にくい・言葉の意味がわからない・文字が読めない・書けない等）等に対してリハビリテーションを行っています。

飲み込みの障害に関しては、きちんと飲めている

か、むせがないか、食事形態があっているかなどを評価し、誤嚥や窒息を防ぎます。また飲み込みに関わる筋肉のマッサージや運動を行います。

高次脳機能障害や失語症については、専門的な検査がありますので、必要に応じて行っています。訓練も症状に応じて、話す訓練や書く訓練、計算課題などを行っています。



リハビリテーションの効果を発揮するには病棟との連携がとても大切ですので、多職種とカンファレンスを交えて、情報交換を行いながら治療を進めています。

総勢17名で明るく元気に日々の治療を行っています。

宜しくお願い致します。



## 夏の行事

# きららの夏 ニッポンの夏

## ～私たちの夏休み～

保育士 秋山 真里

7月13日水曜日、天気は晴れ。重症心身障害児(者)病棟デイルームにて、夏の行事が行われました。

今回のテーマは「日本の夏休み」。4月末から、夏行事に向けて、デイルームの天井飾りや行事内で使う打ち上げ花火製作など、きらら病棟の利用者の皆で準備を行い、行事当日はひまわり、朝顔の花、金魚提灯、大きな絵手紙がデイルームの天井に飾られ、夏満載の会場となりました。

さぁ、いよいよ夏休みの一日のスタート!最初はラジオ体操の歌を歌ってから、「ラジオ体操第一」。それぞれが手足を動かし、身体をほぐしました。

ラジオ体操カードに「今日も体操頑張ったよ」の印鑑を押して…まずは、山に虫捕りに行きました。虫の絵が描いてある札がバラバラになり、パーティションに飾ってあります。「のはらうた」の本に載っている詩を読みながら、詩に合った虫の札を網で捕っていきました。

虫取りの後は海へ!波の音を聴きながら、「もしも私が魚だったら…」とオーガンジーの波を見ながら、ブカブカ泳ぐクラゲ・高くジャンプするイルカ・海のファッションリーダーの鯛になりきり、最後には、大きなクジラが天井いっぱい泳ぐ姿を鑑賞しました。

エンディングは、花火大会。『夏祭り』の曲に合わせて傘花火が登場です。賑やかに打ち上げた後、『少年時代』に合わせてスクリーンに花火の映像が流れました。そして利用者さん全員で作った、キラキラテープの花火をデイルームのあちこちで打ち上げ、フィナーレは正面に大輪の花火が登場しました。

私たちの夏休み、この一日を目一杯楽しんだ行事となりました☆夏は始まったばかり。色々な夏を楽しみたいと思います!



# 胸腔鏡安全技術認定制度

外科系診療部長 井野川 英利



呼吸器外科の手術には大きく分けて開胸手術と胸腔鏡手術があります。開胸手術は昔から行われてきた方法で、傷が大きく胸腔内が良く見えて手が自由に入れられるような手術になります。一方、胸腔鏡手術とはポートという小さな傷からカメラや道具を出し入れして、手術を行うやり方の手術です。胸腔鏡に使われるカメラの進歩は目覚ましく、初めは解像度も低く暗い画面の映像でしたが、今ではハイビジョンから4Kや3D画像のカメラへと進化を続けています。

開胸手術の見えにくい所を照らす補助的な道具に過ぎなかったものが、今ではポートから挿入されたカメラからの画像を頼りにモニターを見ながら手術を行う完全鏡視下の手術が一般的に行われる時代になりました。当院で行う呼吸器外科手術の9割が胸腔鏡手術で行われています。

他の外科領域の鏡視下手術と比べて胸腔鏡の手術は技術認定制度の整備が遅れていました。理由はいくつかありますが、手術のやり方(流儀)が多彩で違うやり方の医師同士での技術の評価の公平性を保つのが難しかったからです。令和3年に初めて学会主導の胸腔鏡安全技術認定制度が確立されました。複数の審査員による手術動画の審査などを経て、全国で400

人弱の申請者から安全に手術を遂行できていると認定された合格者の割合は約7割でした。もちろん安全に手術が遂行された動画が提出されているはずですが、誰が見ても危ない操作のない、減点ポイントの少ない手術動画のみが認定されたということです。意外にも呼吸器外科専門医を2回以上更新しているベテラン外科医の方が更新歴1回の外科医より合格率が低かったそうです。自己流の慣れた手技でも傍から見ると危なく見える場合もあるのでしょうか。ちなみに胸腔鏡安全技術認定制度の受験資格には5年毎に審査のある呼吸器外科専門医の更新歴が必要です。

胸腔鏡手術に限らず、どんな手術にも出血など合併症のリスクは存在します。残念ながら100%安全な手術は存在しませんが少しでも合併症ゼロに近づけるように、すべての外科医は努力を続けています。

自分の技量を他人に評価されるのは怖い気持ちもありましたが、安全技術認定のお墨付きをいただけたことで自身にはなりました。これに慢心することなく、目の前の患者さんに真摯に向き合い予定通りの手術が無事に遂行出来るよう、今後も精進していくつもりです。



# 外来診療担当医表

令和4年7月1日 現在

診療科	概要	月	火	水	木	金
内科新患外来		青江 啓介	前田 忠士 山本 佑 兼定 晴香	松森 耕介 兼定 晴香	米澤 恒成 兼定 晴香	角川 智之 渡邊 倫哉
内科紹介外来			亀井 治人	亀井 治人		亀井 治人
内科			石田 浩一			石田 浩一
呼吸器内科		坂本 健次 伊藤 光佑 村川 慶多	恐田 尚幸 原田 美沙	恐田 尚幸 末竹 諒 藤井 哲哉 上原 翔	伊藤 光佑 深津 愛祐美 水津 純輝 藤井 哲哉	村川 慶多 原田 美沙 上原 翔
腫瘍内科	抗がん剤治療 肺がん等	前田 忠士 近森 研一	青江 啓介 宇都宮 利彰	近森 研一	前田 忠士 宇都宮 利彰	青江 啓介
画像診断科	画像診断等		松本 常男			松本 常男
呼吸器外科新患外来		井野川 英利		沖田 理貴	岡田 真典	
呼吸器外科・外科	肺がん	沖田 理貴 岡田 真典		井野川 英利 岡田 真典	井野川 英利 沖田 理貴	
乳腺・消化器外科	胃がん・ 大腸がん等	平澤 克敏		平澤 克敏 (午前中のみ)		平澤 克敏 (手術で不在の場合あり)
緩和ケア内科	※完全予約制	竹内 愛	小笠原 啓子		竹内 愛	
放射線科	画像診断・ 放射線治療等	田中 伸幸 田口 耕太郎	田中 伸幸 田口 耕太郎	田中 伸幸 田口 耕太郎	田中 伸幸 田口 耕太郎	田中 伸幸 田口 耕太郎
小児科	障害児外来 ※紹介予約患者のみ 診察			奥田 裕美		沖野 文子
精神・神経内科	てんかん等	小野 光弘	小野 光弘	小野 光弘	小野 光弘	小野 光弘

※下記診療科は入院患者のみ診療

消化器内科	内視鏡等 ※午前中のみ				松本 俊彦	
整形外科	リウマチ・骨粗鬆症等 ※午前中のみ					今城 靖明
歯科	※午後13時～		野田 健人	原田 彩		
耳鼻いんこう科	※午後13時～			沖中 洋介 (1・3・5週目) 竹本 洋介 (2・4週目)		
神経内科	※午後13時～			根来 滉		
皮膚科	※午後14時～				杉本 紘子	

① 外来受付時間：午前8時30分～11時30分 【外来診療開始時間：午前8時45分～】

※内科新患外来：午前9時30分～11時00分 / 内科紹介外来：午前9時00分～11時00分

② 再診の予約受付は、医療事務室までお問い合わせください。

③ CT及び核医学(シンチグラム)の外来紹介は、地域医療連携室(内線2452)までご連絡ください。

患者紹介に関するお問い合わせは、地域医療連携室まで

地域医療連携室

受付時間 / 毎週月～金曜日まで 8時30分～17時15分

TEL(0836)58-4100 FAX(0836)58-2938

